

## MINI CHALLENGE JAPAN 2022参戦体制発表

2022年2月10日

バースレーシングプロジェクト(以下、BRP)は、MINI CHALLENGE JAPAN 2022に最新型の「BMW MINI F56 JCW EVO」のMINIチャレンジカップカーを国内初導入し、フル参戦する事を決定しました。

BRPでは2020年からMINI CHALLENGE JAPANにフル参戦をしています。3年目になる2022年はN1規格のカップカーであるJCWクラスに、導入される最新型のJCW EVOを国内初投入しフル参戦を行います。JCW EVOはシーケンシャルミッションが従来のIパターンからパドル式にバージョンUPされ、更にミッションオイルクーラー等の耐久性向上につながる補器パーツも導入され、パフォーマンス向上と車体の完成度が飛躍的に向上しています。また外装も現行型である「LCI2型」のデザインをベースにワイドボディ化されたエアロキットを導入されます。文字通りエボリューションされた新型車両です。

ドライバーラインナップは、Nゼロ規格のレースカテゴリーからのステップアップとして、非常に有効なMINI CHALLENGE JAPANへの参戦支援を具体化する為に、BRPエースナンバーである19号車には、2019年Vitz CUPシリーズチャンピオンである木村 建登選手を起用します。またJCW EVOを2台体制での参戦を視野に入れてドライバーの最終調整を行っており、調整が完了次第2台体制での参戦を予定しています。

### 【MINI CHALLENGE JAPAN 2022参戦体制】

No.19

BRP★木村金属 F56 JCW EVO

ドライバー:木村 建登



No.18

BRP★F56 JCW EVO

ドライバー:TBN



### BRP代表コメント

フル参戦を開始して3年目の節目となるMINI CHALLENGE JAPANですが、今年は最新型のJCW EVOを国内初導入して参戦致します。ミッションの改良と外装も迫力ある新型エアロが搭載されたJCW EVOを国内初導入できる事に大きな期待を持っています。またBRPのレース活動の本丸とも言える、ドライバーのステップアップを支援する活動の具体案として、いわゆるナンバー付きレースカテゴリー(Nゼロ規格)から有能な新人のドライバーを起用して、シリーズチャンピオン獲得を目指す事もBRPの非常に重要な使命と考えており、ステップアップカテゴリーとして非常に有効なMINI CHALLENGE JAPANという舞台で、新人ドライバーにしっかり結果を残せる体制を提供致します。また現在調整中ではありますが、JCW EVOを2台導入して2台体制でフル参戦できるように調整を進めております。

4月の開幕戦には新しいJCW EVOを皆さんにご覧いただけるように準備を進めて参りますので、引き続きのご支援・ご声援何卒よろしくお願い致します。

BRP代表 奥村 浩一